

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和6年 1月 29日

事業所名： 一般社団法人 うさぎの里

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4	5	0	2つの部屋があり、活動によって使い分けて安全面で配慮している。	14	2	0	2	個別療育は個室があり配慮されている。	利用人数が多い日は人が密集しないよう個室を有効活用した。
	2 職員の適切な配置	3	3	3	日によって利用者に対して職員が少ない日もある。	16	0	0	2	専門職が多く在籍しており充実している。	出来るだけ日によって職員が偏らないように勤務調整していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	2	3	4	ホワイトボードや番号、色分けして本人が分るように工夫している。	8	0	0	10		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	9	0	0	毎日掃除と消毒を実施。	15	0	0	3	フロアマットもきれいになり教室の雰囲気も明るくなった。	室内の衛生面と教室を明るくするためフロアマットの交換(張替)を実施。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	7	2	0	職員ミーティングで振り返りを行い課題の解決に努めている。	/	/	/	/		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	2	7	実施していない。	/	/	/	/		必要に応じて実施を検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	5	2	2	法人内でスキルアップ研修を定期的に実施。	/	/	/	/		事業所内でもスキルアップ向上のため毎月勉強会を行っていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	9	0	0	出来るだけ見学・契約時に情報収集・困り事はないか聞き取りを行い、計画書に反映している。	17	0	0	1	定期的に事業所に訪問して家での様子を聞いてもらったり、計画書の説明を受けている。	専門職の特色を生かし、本人や保護者のニーズに反映できるような計画書づくりをしていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	9	0	0		17	0	0	1		
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	9	0	0		/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	5	2	2		/	/	/	/		
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	3	2	児童発達支援センター入園等、移行支援のため情報提供を行っている。	/	/	/	/		今年度は2件移行支援に関わることが出来た。 今後も連携をとっていきたい。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	4	0		/	/	/	/		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	5	2	長期休暇・休日に児童館に外出し交流の機会をつくっている。 保育所等の交流は出来ていない。	13	2	2	1		保育所等の交流は可能であれば検討していきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	0	9	実施できていない。	/	/	/	/		
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	9	0	0		16	0	0	2		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	9	0	0		17	0	0	1		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	4	5	0	必要に応じて訪問したり電話連絡で情報共有している。	15	0	0	3		関係機関にも連携をとりながら支援していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援 (続き)	4	9	0	0		16	0	0	2		
	5	9	0	0	保護者からの相談はプライバシーに配慮しつつ職員間で意見交換後、回答できるようにしている。	15	0	0	3	日頃から相談があれば話をきいてもらったり臨機応変に対応してもらっています。	今後もこちらからデイでの様子を積極的に発信していきたい。
	6	0	0	9	保護者会は未開催。	0	0	10	8		感染状況をみながら保護者間の交流について検討していきたい。
	7	9	0	0	自発管(管理者)が苦情担当窓口となり報告・連絡があれば迅速に対応できるようにしている。	18	0	0	0	要望には対応してくれている。	苦情に対しては真摯に向き合い上司・職員間で協議して迅速に対応していく。
	8	9	0	0	連絡ツール(連絡帳アプリなど)を有効活用しながら情報共有している。	16	0	0	2		
	9	9	0	0	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	15	0	0	3		
	10	9	0	0	個人情報の取扱いに対する十分な対応	18	0	0	0		
非常時等の対応	1	9	0	0		14	2	0	2		
	2	9	0	0	夏休み期間中に避難訓練を実施。	13	3	0	2	デイサービスでも避難訓練やお出かけ(消防に関するイベント)など貴重な体験をさせてもらってます。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
非常時等の 対応（ 続き）	3	7	2	0	法人内・事業所内で虐待防止に関する研修を実施。						今後も身近な問題としてとらえ定期的に事例などをもとにしながら研修を実施していく。
	4	5	4	0	対象の児童はいないが、必要な場合は本人・保護者に説明・計画書に記載をする。						
	5	7	2	0	対象の児童はいないが事前に保護者にアレルギーの確認はしている。						
	6	9	0	0	ヒヤリハットの事例が出た時は、その都度ミーティングで情報共有し意見交換している。						少しでも危険を感じたらヒヤリハットに記録し改善していく。

